

啓発ポスター効果で

相談件数増える

本人からの相談比率高まる

リカバリーサポート・ネットワーク

ばちんこ依存問題相談

5・1件。

いる。

機関であるリカバリーサポート・ネットワーク(RSN)への7月の電話相談件数が113件で前月より23件増えた。月間電話相談件数は4月以降ほぼ100件ペースが続いていて、1日にかかってくる電話相談件数の平均は

今年に入り、全日本遊技事業協同組合連合会(全日遊連)による組合店舗内での啓発ポスター掲示の呼びかけ強化により、ポスターを掲示する店舗が増えたことが、相談件数の増加につながったとRSNでは推測して

都道府県別に相談件数を見ると、沖縄県が最も多く12件だった。6月に沖縄で『援助職者・サポート1ター育成講座』を行ったことや、その模様が新聞に掲載されたことなどが理由として挙げられる。以下、神奈川県(10

件)、静岡県(9件)、大阪府(8件)と続く。7月の電話相談のうち、問題を持つ本人からの相談は全体の62%(70人)だった。そのうちホール内に掲示されたRSNの啓発ポスターがきっかけとなり電話相談をした

件数は、70件中52件だった。本人からの比率は5月が58%、6月が56%と増加傾向にある。対象者性別は、男性が62%(70人)。女性は5月、6月と20%前後を推移していたが7月は28%(32人)に増加した。

相談経路(本人のみ)

